



東白川小だより

令和6年6月21日(金) No.4

校長 桂川 辰也



時と場にふさわしい姿

「仕事(じむ)中(ちゆう)って書いてあるよ。」「シー。」「大きい声出したらダメじゃない？」校長室前の廊下からヒソヒソ声が聞こえました。ドアを開けると1年生の姿がありました。校長室を訪ねてきてくれたのですが、ドアの張り紙を見て自分達で考えてくれていたのです。

来客中「校長先生、遊びに来たよ！」と元気よく校長室のドアを開け、お客さんを見て「ごめんなさい。失礼しました。」と立ち去った5年生の姿もありました。

どちらも、登下校時や休み時間にふざけて会話をする時とは違う「時と場にふさわしい」素晴らしい姿です。

東白川村の小中学生のことを「素直ないい子たちばかりだけど、村から外に出たときに通用するだろうか？」と心配する大人の声を時々耳にしますが、私は上記の様な振る舞いが「常にできる子」ならその心配はないと思っています。

たくさんのお客さんに褒めていただきました

今月は、連日多数のお客さんが本校を訪れました。どの方も、子ども達の落ち着きと笑顔をたくさん褒めてくださいました。特に嬉しかったのは6年生の学習姿勢を褒めていただいたことです。つぶやく時は「えー」「ちがう」「そうか」など無邪気な反応でも、発言時は丁寧な言葉づかいで「私は～だと思います。」「それは～です。」と言い切る姿があります。静かにジックリと考える時間があり、誰も手を挙げていない中でも一人挙手する姿もあります。

「時と場にふさわしい姿」と前述しましたが、授業中の6年生の姿は、大いにそれを期待させてくれます。最上級生の自覚ある振る舞いが、自分たち自身も高めています。6年生の皆さん、本当に素晴らしいです！

「可茂地区幼保小中高生徒指導連携強化委員会」の発表について

6月3日の授業参観では、本校保護者以外にも可茂管内の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校・特別支援学校・警察・教育委員会・地区PTA・民生委員・青少年健全育成の方々の代表が約80名いらっしゃいました。本校が「地域ぐるみで考える健全な児童生徒の育成」をテーマにした実践発表の指定を受けていたためです。当日は、本校PTA本部役員、東白川村学校運営協議会の皆様にもご協力いただきました。参加者の感想を、可茂教育事務所の方が「児童の皆さんへ」「保護者・地域の皆さんへ」とそれぞれまとめて届けてくださいました。本日、別紙にて配付しますので是非ご覧ください。